



2月13日から十勝地本線別春闘討論集会在開催されます。
5地区(上り線・下り線・土幌線・広尾線・銀河線)に分けて集会を
開催しますので多くの組合員の参加をお願いします。

09 3 発行日 2009年1月22日 発行者 自治労北海道十勝地方本部 教宣部

09 道本部国民春闘討論集催

～武庫川ユニオンの闘いにまなぶ～

09年1月8～9日北海道自治労会館で、09年道本部国民春闘討論集会在開催され、全道各地から250名を超える参加がありました。(十勝からは24名参加)

今年の討論集会是例年から変更し、学習会を中心に進められました。

8日は江崎自治労中央本部労働局長から「公務員制度改革(協約締結権)」を主に説明を受けました。説明では現在議論されている公務員への労働基本権付与に係る労使関係の変更について解説されました。今回の大きな変更点は人事院勧告の廃止です。このことにより賃金は各自治体の交渉により決定されることになり、賃金決定の根拠が人事院規則から就業規則に変わり、賃金の額の決定は地域の民間給与データが重要になります。(全体での統一運動が今以上必要になります。)



次に櫛部賃金労働部長から「08秋季闘争中間総括および09当初予算闘争方針」の提起を受けました。秋季闘争総括では全道的な独自削減・合理化状況、勤務時間の短縮状況の解説があり、当初予算闘争の方針では人事評価制度、住宅手当見直しへの対応について継続課題を含め取り組むことを確認しました。

9日は「武庫川ユニオンのたたかひに学ぶ」として小

西純一郎武庫川ユニオン書記長から無期限ストライキを実施した尼崎市役所分会の闘いから得た教訓と課題の説明を受けました。

一部内容を紹介しますと、01年1月から尼崎市役所の住民票入力業務が民間委託され、その際女性労働者5名が業務に従事しました。その後06年12月の競争入札で人材派遣会社に委託先が変更、業務に従事しながら雇用主が変更され、さらに時給が1,000円から900円に引き下げられる事態になりました。人材派遣業者に雇用変更された5名は賃下げと雇用の不安から武庫川ユニオンに相談、尼崎市役所分会を結成し市当局に直接雇用を求めて闘いを始めました。

この闘いの間、人材派遣会社からは翌年度の契約辞退が伝えられ、翌年度から別会社に契約変更される恐れが予想されました。

ユニオンは07年12月から直接雇用を求めて宣伝活動を開始し、08年3月3日無期限ストライキに突入しました。直接雇用を求めるユニオンと、競争入札を譲らない市当局の間で、当局は交渉中にも係わらず強行入札を実施しましたが、不調に終わり結果5名は08年4月に臨時職員として職場に復帰することが出来ました。

強行に入札を実施した市当局に対し5名の労働者が直接雇用を求め無期限ストライキを決行し、テント村を設置して闘った一連の運動でしたが、この闘いを通じての労働運動再生と非正規労働者の雇用安定と労働条件向上が重要であると再度認識させられました。

留萌市労連に檄布を渡しました。

留萌市労連では給料一律20%、現給保障廃止、持家手当の国公並引き下げ等の大幅な削減提案を受けました。交渉の状況については年末から道本部のFAX情報等

で周知されてきたところですが、集会の開催中に十勝地本からの参加者に檄文をいただきました。

檄布は集会終了後、直ちに留萌市労連に渡され共に闘ってきました。交渉結果については1月9日に看護師確保の予算措置と若年層、現給保障等継続協議で闘争は妥結終結しています。その後留萌市労連と留萌地本から全道の組合員からいただいた支援に対しお礼が届いています。



政治学習会を開催します。

09年は政権交代をかけた政治決戦が行われます。この闘いに私たち自治労組合員に何が必要で何ができるか検証します。多くの組合員の参加をお願いします。

日時 2009年1月31日(土) 14:30開始

場所 帯広労働者会館

内容 石川ともひろ衆議院議員 国政報告会

政治学習会「今こそ新しい政治を実現させよう」

講師 連合北海道 村田 仁 氏

(21時の独りごと)

1月17日に芽室町で陸上自衛隊パラシュート降下訓練の反対集会に参加しました。当日は折からの強風。輸送機は旋回するのですが肝心の隊員は降りてきませんでした。気がつけば自衛隊に早く降りて来い、と言っていました。27日は全道集会。今度は失敗しないことを祈っています。(?) (奥田)